


今を輝け、君の未来へ

浦高だより

第75号(令和2年6月22日発行)

 北海道浦河高等学校
(全日制 総合学科)

〒057-0006 浦河郡浦河町東町かしわ 1-5-1
TEL : (0146)22-3041 FAX : (0146)22-2814
URL : <http://www.urakawa.hokkaido-c.ed.jp/>

学校が再開しました

4月18日より続いていた休校期間でしたが、分散登校などで段階的に学校を再開し、6月1日より通常登校が始まりました。本号では学校再開にあたって、本校で実施している感染対策の様子や、生徒の活動の様子をご紹介します。



授業の様子



▲ 生徒・教員ともにマスクを着用し、可能な限り密着を避けて授業を行っています。

感染対策について



◀ 使用した全教室のドアや窓など、よく手を触れる箇所を消毒しています。

▶ 昼食前に必ず手洗いをするようにし、密を避けるために、自分の席で食べます。



部活動の様子



▲ 短時間の実施、練習メニューも間隔を保ったままできるものに限定し、可能な限りマスクを着用して活動しています。



◀ 各階に消毒液を複数設置し、いつでも消毒を行うことのできる環境を整えています。

生徒会長より全校生徒へメッセージ

皆さんこんにちは。生徒会長の三好 凌太郎です。今月に入り、ついに学校が再開しました。これからは今までできていなかった分の授業日数を確保するために、週2回の7時間授業も始まる少しハードなスケジュールになります。部活や講習も含め、忙しくなる人も多いと思います。

ですが、大変な時期に頑張りきるという経験は社会に出た時に大きな強みになります。厳しい状況を乗り越えられたならば、それは自分にとって大きな成長です。この勢いで来月に待ち受ける考査も乗り越えられるように頑張りましょう。



生徒会長

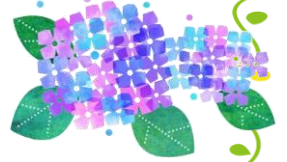
三好 凌太郎

オンライン 全校集会



6月1日(月)学校再開に際し、全校集会を行いました。
 全校集会は体育館に全員を集めることはせず、十分に
 間隔をとった上でICT機器を活用し、体育館や各教室
 をオンラインで繋いで、分散して行いました。

浦河高校でも、感染者が発生した際に
 感染拡大を防ぐため、新たな生活様式に
 基づく学校生活を始めていきます。



IBL ユースカンファレンス 表彰式

昨年3月、IBL ユースカンファレンスに発表資料を送り、評価を受けた4名の表彰式を行いました。

IBL ユースカンファレンスとは、探究的な学習に対し広く門戸を開いた発表の場です。昨年度の第4
 回大会では、全国各地から400名が参加し、資料件数は141件にのぼりました。すべての発表に関し
 て複数の審査員が評価を行い、一定の水準以上の意義があると認められる場合、認定書が発行されます。

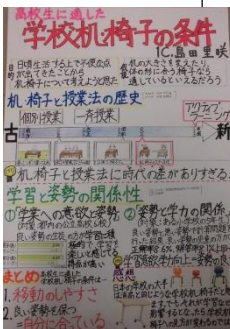
本校からは、島田里咲さん、山田陽菜さん、石山奈歩さん(グループ代表)、住吉胡桃さん(グループ
 代表)が参加し、4名全員が研究結果を認められ、認定をいただきました。



島田 里咲さん <銅賞>

「高校生に適した学習机・椅子の条件」

学校机と椅子をテーマにしたのは、
 私が不便さを感じていたこと、そし
 て研究したら面白そうだと思ったこ
 とがきっかけでした。今年度の課題
 研究でも日常の気づきを大切に、
 良い研究ができるように頑張ります。



山田 陽菜さん <銀賞>

「人にカメレオンの擬態は活かせるだろうか」

私がカメレオンの擬態について、研
 究しようと思ったきっかけは「結晶」
 というテーマのなかで、何か新しい技
 術を自分で生み出せないか考えたの
 が始まりです。課題研究において得た
 成果や成長を評価してもらい嬉しく
 思います。



石山 奈歩さん <金賞>

「ごみを減らそう! ~守ろう魚たち~」

私は課題研究を通して、漠然とした目標から自分
 たちなりの課題を見つけ多角的な視点から解決策
 を考える方法を学びました。この方法は、これから
 の社会の中で必ず役に立つ
 と思うので、まずは今年の
 課題研究も全力で取り組み
 たいです。



住吉 胡桃さん <銅賞>

「全ての女性に教育を」

女性が教育を受けられていない国があると知り、
 女性教育について研究しました。
 データから日本と他国を比較し、現状や要因を調
 べました。今年の課題研究で
 は、自分たちにできることを
 具体化し、アクションを起こ
 したいです。

すべての女性に
 教育を
 SDGs 4 質の高い教育をみんなに
 課題研究4B班

